

# 平成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

下伊那西部シルバー人材センターは 20 年 11 月に発足し、23 年 4 月公益法人に移行して 7 年を経過しました。29 年度の年度末の会員数は 176 人で昨年度比 3 人減となっています。契約高は派遣を含め 4,686 万円で前年度比 101.0%で発足以来最高になりました。また、会員の就業延数は 10,233 人日で、こちらも前年度比 103.7%と上回りました。

全国的に景気は回復していると言われてはいますがなかなか実感できない中で、このように契約額が増加しましたのは、管内 3 村当局からの支援とともに、会員の誠実な仕事ぶりが評価されて、受注を頂いていることで大変喜ばしいことです。就業の内容をみると草刈りをはじめ屋外の一般作業が約 7 割を占めることから、夏場を中心に汗水流して会員の皆さんが就業に積極的に取り組んだ結果であります。

受託事業の契約高を本所と根羽事務所の状況でみると、本所管内は就業延日数では前年度を 2.4%上回る 4,879 件ですが、契約高は 1.8%増の 1,956 万円となっています。一方、根羽事務所管内では就業延日数が 4.5%増の 4,717 件で、契約高は 1.2%増の 2,452 万円とわずかながら増加しました。

当センターは有料職業紹介事業が平成 26 年 10 月から、労働者派遣事業が平成 27 年 4 月から実施事務所として認められ、27 年 4 月から適正就業の面から請負・委任にそぐわないものの労働者派遣事業への切り替えや新たな発注者の開拓を行なっています。29 年度の状況は、受注は 6 業所で登録派遣会員 21 人うち会員 12 人が就業し、就業延日数 637 人日、契約金額は前年度比 4.7%減の 278 万円でした。派遣事業については、賃金部分にも消費税が付加されるなど、手数料率が高いことなどから仕事の話があっても契約に至っていません。

会員については、団塊の世代の多くの方が雇用等から引退しているなかで、会員の皆さんには「会員一人一会員入会」をお願いしてきましたが、入会者は思ったより少なく、年度末の会員は 176 人と伸び悩んでいます。これらの方々には被雇用者であったケースが多いため、就業のニーズと受注業務とのミスマッチが課題となってきたことから、新たな就業の場の確保が急務となっています。

当センターは 27 年度に、28 年度を初年度とする「中期 5 カ年計画」を初めて策定しました。29 年度の契約実績等を 5 カ年計画の目標値と比較しますと、会員数は目標 194 人に対し 176 人、受注件数は目標 1,000 件に対し 966 件と目標には届きませんでした。

また、契約額は目標 4,730 万円に対し 4,686 万円と僅かながら届きませんでした。引

き続き5カ年計画に添って、一層の適正な事業運営を推進していく必要があります。

安全就業には特に心掛けているところですが、29年度は傷害事故はありませんでしたが損害賠償事故が1件発生しました。「安全はすべてに優先する」という就業の基本を会員全体で共有しつつ、就業前の点検確認などにより就業中は勿論、移動中の交通事故の防止に努めていきましょう。

1月には平谷・根羽地区の地区懇談会が開催され、事故防止を図るため安全就業の推進の研修会を開催しました。引き続き、会員の技能の向上と安全・適正就業に努めると同時に、組織体制の充実を図ってまいります。

地域に貢献するシルバー人材センターとして、ボランティア活動にも取り組んでいます。29年度は10月のシルバー事業普及啓発促進月間を中心に、6日間に延べ57名が参加して保育園の環境整備作業等が行なわれました。公益法人としてシルバーの「自主・自立、共働・共助」の精神に則り、今後も多くの会員の積極的な参加をお願いするところです。

「下伊那西部シルバー便り」を年2回発行し、会員及び地域の皆さんに活動状況を紹介するとともに、仕事の依頼、会員募集のチラシも作成して管内3村の全戸へ配布し、受注の拡大等のPR活動を進めました。

先進シルバーの視察研修では、今年度は南越前町シルバー人材センターの視察を行い27名の参加がありました。女性会員が男性より多いセンターで、女性の仕事等について活発な意見交換が行われました。

3月末の会員は176人ですが、この一年に受託事業で就業した会員は157人で、年間就業率は89.2%で前年度をわずかに上回りました。限られた山間地域であり会員の希望する職種や地域的、交通手段等と発注者とのずれもありますが、引き続き未就業会員の解消に取り組む必要があります。

シルバー県連合に加盟してから、就業日数、配分金等とも県下21シルバー平均の半分程度に引き上げることを当面の目標として取り組んでいます。29年度の受託事業で就業した会員一人当たりの年間就業日数は61.2日と前年度とほぼ同様ですが、配分金等は25.5万円で前年より5千円増加し、県下シルバー平均の概ね52.5%という状況になりました。年金プラスαで生活の一助にもなり、金銭的にも頼りになるシルバー人材センターとして、引き続き就業機会の向上を図り就業延数及び配分均等の増加目標も含めて続伸させる取り組みが求められます。

設立から10年、公益社団法人へ移行して7年、当地方で唯一の公益社団法人として、ガバナンス及びコンプライアンスを重視して、名実ともに公益法人にふさわしい組織として、役員・事務局員はもとより会員各位が一体となって、センターの向上を引き続き目指していきましょう。

# 総会・理事会の状況

## 【総会】

H29.5.30 第7回定時総会(出席会員 43 名、委任状出席 113 名、計 156 名)

- ・平成 28 年度補正予算の確認
- ・平成 28 年度事業報告の承認
- ・平成 28 年度収支決算報告の承認
- ・任期満了に伴う役員を選任
- ・定款の一部改正の承認
- ・平成 29 年度事業計画の確認
- ・平成 29 年度収支予算の確認

## 【理事会】

H29.5.16 第1回理事会(出席理事 13 名、監事 2 名)

- ・会員動向と入会申し込み者の確認
- ・業務の運営状況
- ・平成 28 年度補正予算(案)の審議・承認
- ・平成 28 年度事業報告(案)の審議・承認
- ・平成 28 年度収支決算(案)の審議・承認
- ・代表理事・業務執行理事の自己の職務の執行状況の報告
- ・任期満了に伴う役員改選(案)
- ・第 7 回定時総会の開催準備等
- ・平成 29 年度各種支給基準等

H29.6.12 第2回理事会(出席理事 14 名、監事 2 名)

- ・会員動向と入会申し込み者の確認
- ・業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・理事専門部の構成等と事業計画の確認

#### H29.9.26 第3回理事会(出席理事 15 名、監事 2 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 専門部会の事業について確認
- ・ 設立 10 周年記念事業について協議
- ・ 安全・適正就業パトロール結果、事故発生の報告
- ・ 平成 29 年度経理事務等指導・法人立入検査結果の報告
- ・ 代表理事・業務執行理事の自己の職務の執行状況の報告

#### H29.12.15 第4回理事会(出席理事 14 名、監事 2 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 設立 10 周年記念事業の確認
- ・ 空き家管理対策事業の確認
- ・ 正・副理事長研修会等の報告

#### H30.3.20 第5回理事会(出席理事 14 名、監事 2 名)

- ・ 会員動向と入会申し込み者の確認
- ・ 業務の運営状況、予算の執行状況の確認
- ・ 平成 29 年度補正予算(案)の審議・承認
- ・ 平成 30 年度事業計画(案)の審議・承認
- ・ 平成 30 年度予算(案)の審議・承認
- ・ 資金及び設備投資の見込みについての確認
- ・ 定款の一部変更(案)の確認
- ・ 個人情報保護に関する規程の改定の確認
- ・ 第 8 回定時総会開催日程等の確認
- ・ 設立 10 周年記念式典の確認